

(仮称)なら健康長寿基本計画に係る
政策検討会議委員意見

(市町村との連携、支援)

- 市町村の役割分担は特になくても構わないもの。市町村が果たす役割の章を設けて大きくとりあげていただきたい。また、市町村の担当部局と意見交換を十分していただきたい。
- 計画の具体的な実施は市町村が担っていくことになる。計画には実現性が必要であり、実際にやる市町村が関心を持ち意識を高めることが必要である。そのための環境づくりに努められたい。
- 奈良県全体で目指していくのならば、市町村が関連7計画を策定する必要がある。策定されていない市町村に対しては県の支援をしていただきたい。
- 市町村との関わりにおいて、県の役割は単に指標を公表しそれを達成するための指導監督にとどまっていると思われる。具体的な県の果たす役割を示すように検討いただきたい。
- 市町村の計画策定の支援について、具体的に人材が足りない部分は補てんするなどの支援も必要であるため検討いただきたい。
- パブリックコメント等で県民に意見を伺うことも必要であるが、市町村との意見調整が最も重要であるため、十分な意見調整を行っていただきたい。

(計画の目標達成について)

- 目標値については、例えばがん検診は現状20%を50%、特定健診でも25%を60%となっているがそれを達成するには相当な頑張りがある。現状の対策では達成は困難と思われるため、具体的な解決方法を示していただきたい。
- 10年後の健康寿命日本一を達成目標として示されているが、達成するためには単なる市町村への支援では達成できないと思われる。もっと強いものが必要であるのでその方策を考えていただきたい。
- 日本一健康な村と紹介されているところなど健康予防に取り組んでいる先進県、先進市町村を参考にし、モデルとして目標にさせていただくことを検討いただきたい。

(地域包括支援センターの役割)

- 各市町村の地域包括支援センターは高齢者の生活相談をはじめとして予防や要支援に係る介護事業など大きな役割を担っている。この計画においても地域包括支援センターの健康づくりに果たす役割や位置づけを明確にしていきたい。

(医療との連携について)

- 医療の関係については、縦割り行政を超えた横断的な連携について検討いただきたい。